

学校教育目標 「やる気いっぱい やさしさいっぱい 元気いっぱい 蒔田っ子」



まいた

令和3年度

1月号

令和3年12月24日

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/maita/>

皆さんに支えられて

校長 高松 一彦

「おはようございます。」寒い朝の登校時、学援隊の方と子どもたちとのあいさつの声が響きます。私が、蒔田小で素敵だなと感じることの一つが、この学援隊の皆さんの登下校の見守りです。学援隊は、地域の方がボランティアで子どもたちの登下校時の見守りをしてくださっているものです。とても自然な様子に感じたので、「もう、かなり前から学援隊はあるのですか。」と聞いてみると、「今年で3年ほどになります。」との答えでした。思ったより歴史は浅いのですが、今ではすっかりまちに定着しているように感じます。

学援隊の成り立ちなどを隊長の佐藤様に聞いてみると、「孫の入学が近づいてきた頃、改めて考えてみたら、小さい子どもたちがこの坂や階段を上って登校するのは、かなり大変だろうと感じました。何か少しでもお手伝いできることはないかと考えたことが、学援隊をつくる一つのきっかけになりました。」とのことでした。さらに、「今では、学援隊のベストを着て歩いていると、たくさんの方から声をかけられ、地域の人同士のつながりも深まってきました。」とお話をいただきました。佐藤様は毎朝、学援隊の方々に声をかけながら学区をくまなく歩き、子どもたちの登下校の様子を見守ってくださっています。また、いつも学校の正門前に立ってくださっている小野様は、「子どもたちがあいさつしてくれることがとても増えたよ。それだけでなく、ここを通る人、自転車、車もみんな挨拶してくれるようになったんだ。」とうれしそうに話してくださいました。地域のボランティアである学援隊の方々に支えられ、登校することができる蒔田小の子どもたちはとても幸せだなと感じました。その上、その活動がまちの方々につながりにも役立っていることで更にうれしく感じました。



登校の見守りをして
くださる学援隊の方



円形校舎屋上から見える
美しい富士山

4月より、一人一台のタブレット導入、コロナ禍での分散登校、3部に分けたときどきスポーツフェスティバル、70周年記念児童集会等々、様々なことがあった令和3年がまもなく終えようとしています。このような環境の中でも、学校教育活動を進め、一年を締めくくることができるのは、学援隊をはじめ日頃から学校を温かく支えてくださる地域の皆様、いつも学校の教育活動を理解し協力してくださる保護者の皆様のおかげと感謝しています。

皆様にとりましても、学校にとりましても、令和4年が良い年になりますよう心から願っています。皆様、良いお年をお迎えください。